

親子の共同発達として捉えた 子どもの自己制御機能 (11)

— 2 歳台の子どもに対する母親の対応：典型例と多様性 —

○渡辺忠温 (東京理科大学)
竹尾和子 (東京理科大学)

高橋 登 (大阪教育大学)
渡部朗代 (白百合女子大学大学院)

キーワード：自己制御，幼児，親子関係

目 的

本研究では、母子間の双方向的な影響関係の中で進行する「自己制御の共同発達」(竹尾・渡辺・渡部, 2015) という観点から、2 歳台の子どもの自己制御の行動に対する母親の対応の特徴 (典型的な対応の有無、対応行動のバリエーション等) および母子間での行動の対応関係について、母親へのインタビューデータをもとに検討を行う。

方 法

調査対象者・方法：7 組の母子 (男児 4, 女児 3) に対し、1.5 ヶ月に 1 回家庭訪問を行い、母親へのインタビューと母子への実験を縦断的に実施した。本研究では、2 歳 0 ヶ月から 2 歳 11 ヶ月の期間のインタビューの分析結果について報告する。

分析方法：母親による語りの内容に対しコーディングを行った。具体的には、まず、6 つの分析テーマを設定し、語りの中の意味的まとまり (以下「話題」) に対し、上記の分析テーマごとに語りを詳細・具体的に記述可能なコードをボトムアップに設定した (下位カテゴリー)。下位カテゴリーを包括的に扱いる上位概念 (上位カテゴリー) をまとめ、そのうえで母親の語りの内容が持つ複数の側面について上位カテゴリーに基づいて分類した (語りの側面)。本発表では分析テーマのうち「母親の行動」

について分析と考察を行う。

結果・考察

母親の対応行動の特徴については 7 つの側面が抽出された (表中「語りの側面」)。全体的には、親の意図と子どもの意図のいずれを重視するののかについてのカテゴリーの他に「コミュニケーションな対応」、「問題回避型対応」、「第三者を利用した対応」が見られた。母親は、母子の意図のいずれか一方を優先させる対応を常にとるわけではなく、多様な対応方法を取りながら母子間の葛藤解決・関係調整を行っていることがうかがえる。また、母子間の行動の組み合わせについては、初期コミュニケーション的自己主張—親の意図優先のコントロール (言及数: 33)、動作性自己主張—親の意図優先のコントロール (15)、主体的行動へのこだわり—放任・放置・無視 (16) についての言及が多かった。言及数の多さからみて、コミュニケーションにおける子どもの意図の明確さと母親の対応選択との関連が考えられる。また言及数は少ないものの他にも多様な組み合わせがあり、上記母親の対応行動の特徴とともに、このことから母親の対応行動が状況に応じた柔軟さを持ちながら行われていることが分かる。(本研究は科学研究費補助金 (課題番号 21730527) を受けて行われた。)

表 自己主張的行動に対する母親の対応行動についてのカテゴリー・話題数

語りの側面	上位カテゴリー	定義	話題数
親の意図優先の対応	親の意図優先のコントロール	母親の対応において、強制的に親の意図に従った行動を子どもに求める場合。	81
子どもの意図優先の対応	子どもの意図優先のコントロール	子どもの意図が比較的明確な場合に、母親の意図よりも子どもの意図に沿った行動を子どもにさせようとする対応の場合。	18
	援助・サポート	子どもの意図が比較的明確な場合に、子ども自身の意図に沿った行動を母親がサポートする対応。	8
放任・放置・無視	放任・放置・無視	具体的な対応を行わない場合。子どもの自己主張的行動を気にかけないようにしている場合 (無視) と気にかけているが、あえて対応を取らない場合の両方が含まれる。また、子どもに自由に行動させている場合でも「意図を優先」しているわけではなく、「あきらめ」などの気持ちから、対応することを放棄している場合。	39
	説得的コントロール	子どもに自己主張的行動をとらないように言い聞かせるなどの説得的行動を行っている場合。	38
コミュニケーションな対応	条件提示型対応	条件を提示することで、子どもの自己主張的行動に制限をかけようとしている場合。	6
	対話的コントロール	子どもの考えや気持ちを聞いて対応している場合。あるいは、母親の考えや気持ちを話すことで母子間の妥協点を探ろうとしている場合。	4
	要求形式でのコントロール	子どもが好んで行う自己抑制的行動をお願いすることで、自己主張的行動からの切り替えを図る場合。	2
	象徴を使った対応	おばけなど象徴物を母子間のやりとりの中に介在させることで子どもの自己主張的行動を抑制する場合。	1
問題回避型対応	注意誘導によるコントロール	注意を他にそらせることで自己主張的行動を抑制する場合。	7
	身体的慰撫	身体接触により自己主張的行動を抑制する場合。子どもの自己主張に直接対応するというよりも、自己主張行動のもとになっている情動面での対応に主眼をおいた対応。	3
第三者を利用した対応	兄弟姉妹を利用した対応	母親自身が対応するのではなく、兄弟姉妹に対応させる場合。	6
その他	その他		4